

質問

精神疾患のある人の中には、支援者に結婚のことを話すと反対されそうで話せないという人がいます。支援者の考えや態度を変えるために必要な基礎教育や現任教育は何でしょうか？



回答

保健医療福祉の精神疾患に関連した専門職教育の中に、恋愛や結婚を含む「セクシュアリティ」を含めることが重要だと考えます。セクシュアリティが資格をとるための基礎教育に含まれていないために、知識を得る機会もなく、自分の仕事だという認識が生まれにくくなっていると思います。現任教育では、実際にどのような対応ができるかを専門職同士で話し合うことが有効だと思います。恋愛や結婚を含むセクシュアリティは、個人の価値観が大きく関与する領域であり、他の専門職と意見交換する中で自らの価値観に気づき、態度が変わっていくことが期待できると考えます。

あいりきファシリテーターからのメッセージ



きょうこさんからのメッセージ

当事者は、早くからメンタル疾患になる事が多く、経験不足です。その事をカバーする支援者や色々なツール（あいりきなど）が必要です。当事者、支援者、お互いに何事もやってみる（当たって砕けろ）事が大事だと、思います。



ねもやんさんからのメッセージ

当事者にはもっとわがままになっていい、いい子を卒業してほしい、人生細く長くではなく太く長くを目指してほしい、当事者の周りの人には18才を超えたらもう大人、責任は当事者に任せていい、もっと気楽に動いて必要な所を支援してほしい、支援者も当事者の親を巻き込めば、責任が軽くなるのではないか、当事者をもっと大人扱いしてほしい、今回はイベントへのご参加ありがとうございました